



木更津高専だより

2022
93号
September



1M



1E



1D



1J



1C



専攻科

Contents

校長挨拶	1
新任副校長挨拶	2
定年退職教職員挨拶	3
学校行事(新入生研修、体育祭、専攻科スポーツデー、STG講習会)	4~5
高専体育大会結果報告(地区大会・全国大会)	6~7
新入留学生紹介、国際寮竣工式を挙行	8
新任教員紹介	9~10
お知らせ	11

高専生活の思い出づくり! コンテストに挑戦

校長 山崎 誠

新型コロナウイルス感染症が世界に拡がってから2年半以上が経過しましたが、変異株が次々に出現し、感染が収まる状況にはありません。それでも、登校禁止処置で遠隔授業を行っていた感染初期と違い、今年度は通常授業を続けており、課外活動も行なっています。5月には体育祭を4年ぶりに開催することができました。もちろん、コロナ以前と同じ内容で行事等を行うことはできませんが、集合型で体育大会やコンテストを実施できるようになりました。

NHKの高専ロボコンについては皆さんよく知っていると思います。正式名は「アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト」です。ロボコンは、高専体育大会と同じく、国公私立の高専が参加している高等専門学校連合会の主催行事です。連合会主催で全国の高専生が競うコンテストには、他に、全国高等専門学校プログラミングコンテスト(プロコン)、全国高等専門学校デザインコンペティション(デザコン)、全国高等専門学校英語プレゼンテーションコンテスト(プレコン)があります。

私は、一昨年と昨年の2年間高専ロボコンの運営に携わっていました。コロナ禍でしたので、集合して対戦型の競技をすることができず、パフォーマンスを評価するコンテスト型で実施しました。通常の高専ロボコンとは違った形式になりましたが、多種多様なロボットが参加し、高専ロボコンを継続できたことは良かったと思っています。また、それ以前、20年ほどプロコンの運営に携わってきました。プロコンは、高専教員が、高専生の力を世の中にアピールするため、またプログラミング教育の向上を目指して始めたコンテストです。運営の業務はかなりの仕事量ですが、全国から本選に集まった高専生の顔を見ると、その苦労も一気に吹き飛んでしまう熱気を毎回感じていました。

高専ロボコンはじめ、ここにあげたコンテストは高専生を対象としたものです。高専は全国にあり、高専の学生同士が直接競い合う機会は多くありません。コンテストに参加すれば、「こんなすごいものを作りたい!」、「自分の作品や力も全国で通用するのだ!」と他の学校の学生の力と自分の力との差を実感できると思います。同じ高専生ができるることは、頑張れば自分でも実現できると奮い立つこともあります。それこそ、全国の高専生が切磋琢磨して成長する姿です。

学校における通常の授業や研究活動は基本で大切なことですが、それとともに若い時期に思いつきクラブ活動やコンテストに挑戦するのも自分を大きく成長させるチャンスです。その過程で得た友人は一生の財産です。木更津高専で人間的に大きく成長できる機会が多くあります。高校生や大学生が挑戦するコンテストも多くあります。高専生活の中で、授業以外の活動にも是非参加して下さい。きっと驚く出会いや出番があります。



新任副校長挨拶

総務担当副校長 内田 洋彰(機械工学科 教授)

4月に総務担当副校長の任に就きました。

コロナ前の2018、2019年度に教務主事として教務関係に携わり、この4月からはこれまでの経験を活かして、総務関係を中心に学校業務に携わります。

現在、大学等の高等教育機関においては教学マネジメント、教学IRといわれる教育および学修の質の向上に向けた取組が行われています。これは、授業評価アンケート等の学生アンケート、CBT(Computer Based Testing)など各種データを統合的に管理して活用することで、本校の教育活動をはじめとする様々な活動を戦略的・効率的に実施して、学修者本位の教育の実現を目指す取組です。さらに本校は、第2ブロックの推進校として高専の教学マネジメント推進事業に取組むことも課せられていますので教職員、学生の皆さんのご理解、ご協力をお願いいたします。

また、学校の広報についても担当します。本校公式のYouTubeチャンネル、Twitter、Facebookでの広報活動も行なっていきます。今頃?という声もあるかもしれません、千葉県内外を問わずより広くの方に木更津高専の教育・研究、課外活動、地域連携、国際交流など活動と取組に関する情報を発信していきます。



地域共同テクノセンター長挨拶

地域共同テクノセンター長 島崎 彦人(環境都市工学科 教授)

令和4年4月1日付で、地域共同テクノセンター長を拝命した島崎彦人です。どうぞよろしくお願いいたします。

地域共同テクノセンターは、産業界や自治体等と連携しながら地域社会の発展と高専の教育・研究活動の活性化を推進するための拠点として、全国の高専に設置されています。本校でも2000年12月に設置されて以来、技術振興交流会や地域社会の皆様からご支援いただきながら、共同研究や受託試験、技術相談、市民向けの公開講座等に取り組み、地域連携の窓口としてその役割を果たしてまいりました。

高等専門学校制度創設60周年の節目となる今年度は、「研究・教育成果の社会実装を目指す高専」と「高専の技術やアイデアを活用した課題解決を目指す企業・団体等」とのさらなる連携強化が期待されています。この連携強化は、人材育成の基盤となる高専の研究力を向上させ、教育環境の拡充をはかるための方策のひとつです。地域共同テクノセンター長として、木更津高専の実態に即したかたちで連携機能を強化し、地域の産業振興と我が国の持続的な発展に貢献する優れた人材を輩出できるよう努めてまいりたいと思います。



定年退職教職員挨拶

電気電子工学科 嘱託教授 大澤 寛

1987年から35年間、迷走しながらもなんとか教員を務め、定年後の再雇用期間が終わりました。この間、教員としては失敗も多く、慚愧の念に堪えないこともあります。それでも、事務の方、同僚の先生、とりわけ沢山の学生さんから多くを学び、また助けてもらいました。

以前から感じていたことですが、多くの学生は3年から4年にかけて大きく成長します。この時期の学生の成長に立ち会えるのは、高校でも無く大学でも無く、高専教員特有の喜びだと思います。そんな学生達と授業や実験、卒研の後に、何でもない話をして笑い合ったり、議論をしたりしたことが今では貴重な思い出です。人生の一時、木更津高専を通過していった多くの学生さん達に幸あれと祈っています。そして、これまで関わった多くの人に感謝します。



前事務部長 小山 登

この度、3月末をもちまして定年退職いたしました。
これまで、本省、大学等で永きに亘り仕事をさせていただきましたが、公務員生活の最後に私立大学の様な瀟洒なキャンパスを有した、優秀な教職員や向学心に富む学生達が集う学び舎、木更津高専で仕事をさせていただいたことに心より感謝申し上げます。



諸外国に比べ極めて低い日本の理系人材比率の改善が喫緊の課題である中、高専の重要性は今後大いに増して行くと思います。特に、木更津高専は、首都圏に位置し地理的にも、熱意を持った教職員人財にも恵まれ、また、これまで培った学校の良き伝統を守りつつ社会構造の変化への柔軟な対応を実践していること等、多くの強みを更に伸長していくけば、個性輝くオンリーワンの高専となっていくことと期待しております。これらの学校の益々の発展を木更津高専OBとして、応援しております。

退職後の現在も大学評価の仕事に忙殺され、せわしない日々を送っておりますが、余裕ができた時には、どこか懐かしくもあり新しい、里山里海に囲まれた魅力溢れる木更津の街を訪れたいと思っています。

短い間でしたが、たいへんお世話になり、ありがとうございました。

総務課 正木 昭弘



昭和55年に国鉄(現JR)に入社し、国鉄民営化に伴い昭和61年に千葉大学に採用となり、その後、平成3年に木更津高専に異動後、この3月で無事に定年退職を迎えることとなりました。この間については皆様のお力添えをいただき、心より感謝いたしております。

在職中は、創立50周年記念式典等に携わることができ、とても良い思い出となっております。木更津高専が今後も100年、150年と未来永劫発展していくことを祈念いたしまして、定年退職の挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。



新入生研修

学生主事補 小原 翔馬

4月16日(土)に新入生研修が行われました。新型コロナウイルスの影響により例年のような合宿研修が困難であったため、今年度も昨年度と同様に、本校学内にて新入生研修を行いました。

この研修は「充実した学校生活の実現に向けて、クラス内における仲間作りのきっかけを作る」目的で行われ、主に教室活動と体育館活動について各クラスで取り組みました。

教室活動として、自分の大好きなものを書き込んだ「お気に入りマップ」を作成し、クラスメンバーと対話し、クラス内の人間関係を育みました。また、体育館活動として「ブルーシートラリー(本校オリジナルスポーツ)」を行いました。学生間で積極的に協力して練習や競技を通じて、クラス内の人間関係を深めました。

入学から10日ほどの期間で、高専生活に不安をかかえた新入生が多くいる中での研修でしたが、事後アンケートでは「楽しかった」「友達作りのきっかけになった」との意見が多く、少なからずこの研修の実施意義を感じました。

この研修を通じて、クラス全体の交流が深まり、より良い高専生活を過ごしてもらえたなら喜ばしく感じます。



体育祭

学生主事補 小原 翔馬

5月20日(金)に体育祭が行われました。天候不順や新型コロナウイルスの影響による中止のため、今年度は4年ぶりの体育祭実施となりました。今年度の体育祭はコロナ禍での開催となったことや実行委員会の学生の知識や経験の引継ぎが途絶えかけていたこともあり、例年の体育祭から一新して、新たな体育祭様式の構築を試みました。その中で、今年度の体育祭は開催すること自体を何よりも大きな意義や目的とし、従来の競技内容や実施時間の見直しおよび新型コロナウイルスの感染対策や熱中症対策にも十分留意し実施致しました。

体育祭実行委員会の学生は知識や経験不足がありながらも、実行委員長を中心によりよい体育祭となるために活発な議論を行い、積極的・自主的に準備に励んでおりました。その甲斐もあり、晴天の中、非常に充実した体育祭を実施することが出来ました。

体育祭当日は、久々の体育祭ということもあり、充実した表情で競技に取り組む学生の姿が見られ、その姿を他の学生が意識的に感染対策を順守しながら可能な限り応援を行っていました。今年度に培った知識や経験、チームワークを活かして、来年度以降に向けてより良い体育祭となって頂けたらと思います。



専攻科スポーツデー

副専攻科長 大久保 努

5月20日(金)に専攻科スポーツデーを開催しました。新型コロナウィルスの感染拡大もあり、3年ぶりの開催となりました。当日は、本科での出身学科別に5チームに別れ、ドッヂボールとバスケットボールを総当たり形式で予選を行い、その後、上位チームによる順位決定戦を実施しました。

どの試合も白熱した戦いが繰り広げられ(当初は参加も考えていた先生ですが、ボールスピードの速さと激しい接触プレーを目の当たりにし断念)、優勝はドッジボールが電気電子工学科(E科)、バスケットボールが環境都市工学科(C科)となりました。

専攻科では体育の授業がなく、また部活動に参加している学生も少ないため、試合数の多さから体力的に辛そうな姿もありましたが、各チームで協力しあい人々の運動で良い汗をかけたようでした。



STG(車両通学学生)講習会

6月12日(日)に、自動二輪での通学を許可された学生を対象に、交通指導の一環で自動二輪の走行技術向上を目的としたSTG講習会を木更津自動車教習所において実施しました。

講習会は、教習所内での基本走行を起点として、クランク走行・パイロンを用いたスラローム走行・一本橋走行などの応用走行の訓練を行ったりしました。参加した18名の学生は、千葉県警白バイ隊による模範走行や違反車両取り締まり実演等を見て、安全意識を一層高めた様子でした。

本校は、今後も本講習会をより一層充実させることで、学生の車両通学マナーの向上に努めています。

ご協力いただいた木更津自動車教習所の皆様、千葉県警白バイ隊の皆様に深く感謝申し上げます。



令和4年度 高等専門学校体育大会の結果

関東信越地区高等専門学校体育大会(開催期間:令和4年6月25日～7月18日)			
競技	種目	結果	選手氏名
陸上	男子100m	1位	羽生虎太郎(D3)
	男子200m	2位	羽生虎太郎(D3)
	男子400m	3位	福田 晴仁(C1)
	男子110mハードル	3位	稻田 晴基(M3)
	男子400mハードル	2位	稻田 晴基(M3)
	男子4×100mリレー	2位	中野 孝徳(C4)
			稻田 晴基(M3)
			秋井 一希(D3)
	男子4×400mリレー	3位	秋井 一希(D3)
			福田 晴仁(C1)
	高木 聰(C3)		稻田 晴基(M3)
	男子走幅跳	2位	中野 孝徳(C4)
	男子やり投	1位	加治 直樹(D3)
	男子総合	3位	
	女子100m	2位	清水 咲希(D1)
	女子200m	2位	清水 咲希(D1)
	女子800m	1位	忍足 優菜(J5)
	女子3000m	1位	忍足 優菜(J5)
		3位	佐久間萩織(C1)
	女子4×100mリレー	1位	渡来 桃(E2)
			忍足 優菜(J5)
			佐藤 凜(E4)
	清水 咲希(D1)		
	女子走幅跳	1位	佐藤 凜(E4)
	女子走高跳	1位	佐藤 凜(E4)
	女子砲丸投	2位	渡来 桃(E2)
	女子円盤投	3位	渡来 桃(E2)
	女子やり投	2位	佐久間つく紫(C4)
	女子総合	2位	
水泳	男子50m自由形	3位	三上 大河(E3)
	男子100m自由形	3位	堀江 空希(D3)
	男子400m自由形	2位	中山 大夢(E4)
	男子100m背泳ぎ	2位	田阪 拓海(M4)
	男子200m背泳ぎ	1位	田阪 拓海(M4)
	男子100mバタフライ	2位	三上 大河(E3)
	男子200mバタフライ	1位	中山 大夢(E4)
	男子200m個人メドレー	1位	堀江 空希(D3)
	女子50m自由形	1位	長谷川 秋(E3)
		2位	金子 七海(E2)
野球		1位	
バレーボール	女子	1位	
バスケットボール	男子	2位	
ソフトテニス	男子団体	1位	
卓球	女子団体	1位	
	女子シングルス	1位	武井 心(C3)
	女子ダブルス	1位	山田 真緒(M5)
バドミントン	男子シングルス	2位	中村 光希(M3)
剣道	男子団体	1位	
	男子個人	3位	塚越 陽翔(M2)

第57回全国高専体育大会で活躍した学生たち

全国高等専門学校体育大会(開催期間:令和4年8月20日～9月4日)

競技	種目	結果	選手氏名
陸上	女子走幅跳	3位	佐藤 凜(E4)
	女子走高跳	1位	佐藤 凜(E4)
	女子総合	3位	
野球		3位	

陸上競技部 (電気電子工学科4年 佐藤 凜 女子走高跳／第1位、女子走幅跳／第3位)

陸上競技部は、8月20日・21日、愛媛県のニンジニアスタジアムで開催された全国高専体育大会に男子10名、女子6名で出場しました。

今大会では、女子総合で過去最高得点の30点を獲得し、3位に入賞することができました。また、女子フィールド総合でも1位入賞を果たしました。

個人としてもたくさんの入賞者が出ましたが、納得のいく結果を残せず悔しい思いをした選手もいました。今回の反省を活かし、より一層日々の練習に取り組んでいきます。

応援、サポートしてくださった方々ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。



野球部 第3位 (電気電子工学科5年 西村 哉人)

硬式野球部は、9月2日～4日にレグザムスタジアムで開催された全国高専体育大会に出場しました。

1回戦は香川高専詫間キャンパスとの対戦でした。

積極的な打撃、走塁が功を奏し、12-0の7回コールドで勝利しました。

準決勝は函館高専との対戦となりました。

相手ピッチャーの球を捉えきれず、2-9で敗北し、結果は3位入賞となりました。

負けてしまったのは悔しいですが、約20年ぶりの出場となった全国大会で3位という成績を残せたのはとても良い思い出となりました。

これからは2年連続の全国大会出場に向けて練習をしていきますのでご支援、ご声援の程よろしくお願いします。



新入留学生紹介

KHASHKHUU NASANBUYAN

皆さん、こんにちは。電子制御工学科3年生のナサです。去年の6月にモンゴルから日本に来て、東京で日本語学校に通って、今年の4月から木更津高専に来ました。好きなことはバレー・ボールとバスケットボールです。その上たくさん食べることが大好きです。

子供の時からLEGOなどが好きだったので、エンジニアになって自分の手でのものを作りたがって、エンジニアになろうと思いました。夢は日本で身につけた知識を使って自分のビジネスをすることです。これから楽しい3年間よろしくお願いします。



LEE MIN YI

情報工学科3年のミンイと申します。マレーシアのケダ州出身です。趣味は音楽として、小さい頃からピアノを習いました。その時から、音楽に対する興味を持っていて、中学校の時オーケストラに入って、バイオリンをやっていました。今オーケストラ演奏の経験を思い浮かべると、貴重な思い出となりました。

国のおかげで、日本に留学する機会があることにありがたいと思います。これから新しい人生のステージに入つて、どんな困難にぶつかっても、それを乗り越え、頑張りましょう。



MUSMENTA LOUIS

環境都市工学科3年生のルイです。ウガンダから来ました。趣味はサッカーのすべて(する、見る、ニュース等)映画やアニメ、友達と遊ぶことです。私にとって木更津高専のみんなは優しくて、いろいろ分からぬことがありますがあればいつも手伝ってくれてありがとうございます。

サッカーが大好きなので、サッカー部に入りました。木更津高専に来る前にサッカーするのには3年ぶりだったので最初に練習とトレーニングが非常に辛かったんですが、今は多少大丈夫だと思います。サッカー部で、サッカーのコツだけでなく、日本語やいろいろ日本の習慣をみんなから習っていてうれしいです。

今から日本語や勉強のことにもっと得意になりたいと思っています。それでたくさんの新しい友達を作り、楽しくてうれしい生活を送るのを望んでいます。

よろしくお願いします。



国際寮竣工式を挙行

令和4年3月30日(水)、本校にて国際寮竣工式を執り行いました。

国際寮は、日本人学生と外国人学生が日常的な交流を通して国際感覚を学び、異文化理解を深めることにより、国際的な視野を持つ実践的で創造性のある技術者の育成を目的としています。

本校を含め全国17高専に国際寮が新設されており、建物は鉄筋コンクリート造の3階建て、収容人数は68名、1階から3階の寮室は全室個室化された6~7名単位で入居するユニット型となっており、留学生と日本人学生で国際交流が図れるよう設計された混住型の学生寮となっています。また、時代の変化に応じた間取り変更等の改修に対応できるような造りになっています。

現在日本人専攻科生を含め6カ国の学生が在寮しています。本校の更なる国際交流活動の活発化が期待されます。



人文学系 講師 小川 祐輔

今年度より人文学系(英語科)に着任した小川祐輔と申します。

私は英語科の教員ですが、決して英語一筋の人生を送ってきたわけではありません。むしろ、中学・高校時代は英語が嫌いだったくらいです。そうした「英語嫌い」人生の転機となったのは、大学時代に今の専門分野である心の哲学に出会ったことでした。

心の哲学は英語圏の国で盛んな哲学の一分野で、その名のとおり「心とは何か」という問い合わせを追求しています。もう少し具体的に言うと、この分野では、「心と脳の関係とはどのようなものか」とか「意識はどのように実現されているのか」といった問い合わせに、科学的データから思考実験まで様々なものを駆使してアプローチしています。大学時代の私には(今もですが)、こうした哲学的探究が非常にスリリングなものに映りました。そして「自分も本格的にこれをやりたい!」と思ったからこそ、重い腰を上げて英語を勉強し始めたわけです。

以上の経験から、私はここ木更津高専で、学生の皆さんに「自分にとっての英語の重要性」について考えるきっかけを提供したいと考えています。それがはっきりすれば、きっと英語学習にも一層身が入るはずです。そのための協力は惜しみませんので、どうぞよろしくお願ひします。



電気電子工学科 准教授 栗本 祐司

今年度より電気電子工学科に着任いたしました。

私は電機メーカー、ベンチャー企業で太陽電池の研究開発をしてまいりました。ここ10年、我が国の電機産業に起きた構造変化は激しく、そして過酷なものでした。私が、この渦中で痛切に感じてきたことを若い人に申し上げます。

技術開発は、経済、政治、文化、近代史などの流れの上で必要とされるものが遂行されます。技術は技術以外のものと決して無縁ではないのです。若い人は技術のみに固執せず、上記のことを大いに学ぶべきであります。人間として深い教養とバックグラウンドを持ち、且つ専門分野を持つ技術者になってほしい。

我が国は資源がないので内需のみで経済が成立しません。外国に価値を提供し対価を得ることで立国をしていかざるを得ません。そのために技術開発は国益を誘導するものであることが必要です。若い人には、国際情勢を考慮しつつ、自らの技術を世界の舞台の物差しで俯瞰できる力を養ってもらいたい。

皆さんは、時代を作り、日本という技術立国に国益を与える技術者になってもらいたいと思っています。私は、そのお手伝いをさせていただくとともに、私自身も技術という土俵でまだ戦っていきたいと思っています。

皆さんにも私にも、立ち止まっている時間はありません。前に進みましょう。



電気電子工学科 助教 水越 彰仁

令和4年4月より電気電子工学科に助教として着任いたしました、水越彰仁と申します。3月までは長岡技術科学大学の博士課程に在籍しておりました。私は本校電気電子工学科の卒業生であり、この度母校に教員として戻ってまいりました。

私はパワーエレクトロニクスを専攻しており、電気自動車や空調機などの要素技術であるモータ制御及び電力変換回路に関する研究を行っております。パワー・エレクトロニクスの魅力は、電気回路や制御工学、電力工学等の複数の分野の要素技術を用いて一つの装置を作り上げる点にあると思います。理論を考え、回路を作り、プログラミングを行って自分の思い通りの実験結果を得られたときの感動を学生にも味わってもらいたいです。その他、学科によらず学生生活や進路等、OBの視点からアドバイスできることもあると思いますので、気軽に訪ねてきてくれれば幸いです。

木更津高専で5年間共に過ごしてきた同級生とは今でも繋がりがあり、各地の企業等で活躍している話をよく聞きます。これからは教員として、学生時代にお世話になったこの地に教育研究を通して貢献していくと考えております。これからどうぞよろしくお願い申し上げます。



環境都市工学科 助教 佐久間 東陽

令和4年度4月より環境都市工学科に着任いたしました。私自身、今から6年前の平成28年3月に本校の専攻科を修了したOBであります。その後、茨城大学大学院、筑波大学大学院(連携大学院方式 国立環境研究所)に進学し博士号を取得した後、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構で研究員を1年間務め、母校に戻るかたちになりました。

専門は空間情報工学であり、特に人工衛星やドローン、車両からのリモートセンシングの研究にこれまで従事しておりました。本校に着任後も引き続き、地域から地球規模の人間活動と、それに伴う自然環境への影響を明らかにするためのモニタリング技術の開発に努め、両者の良好な関係性を理解していきたいと思っております。



学生の皆さんには長引くコロナ禍における高専生活に適応しつつあるのでしょうか、私自身、母校に安心感を覚える一方で、在学当時とは状況が大きく変化している部分が多くあり、時折戸惑いを感じております。このことは新鮮さと前向きに捉え、新たな気持ちで本校に携わっていきたいと思っております。そして、学生の日々の成長を支援していくことを大切にし、私自身も教育・研究者として成長できるよう、周りの教職員の方々と精力的に活動していく所存です。今後ともどうぞ宜しくお願ひいたします。

お知らせ

教職員の異動

■新任教職員

(採用)2月21日
鈴木七月生(総務課経理係)

(採用)4月1日

小川 祐輔(人文科学系 講師)

栗本 祐司(電気電子工学科 准教授)

水越 彰仁(電気電子工学科 助教)

佐久間東陽(環境都市工学科 助教)

河上 純(総務課人事・労務係)

(配置換え)4月1日

山崎 誠(校長) ← 群馬高専

(転入)4月1日

窪川 友行(事務部長) ← 長岡技科大

市川 智一(総務課長) ← 千葉大学

■退職・転出

(転出)3月31日

佐久間研二(校長) → 香川大学

矢澤 義彦(総務課長) → 千葉大学

堤野 昌志(図書・情報係長) → 千葉大学

(退職)3月31日

上原 正啓(電気電子工学科 教授)

鈴木 聰(電子制御工学科 教授)

栗本育三郎(情報工学科 教授)

福室 康介(基礎学系 講師)

小山 登(事務部長)

正木 昭弘(総務課課長補佐)

(退職)7月31日

鈴木 華乃(学生課教務係)

行事予定

10/1(土)	オープンキャンパス
10/3(月)	後期授業開始
10/15(土)～16(日)	全国高専プログラミングコンテスト
10/16(日)	アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト 関東甲信越地区大会(栃木県立県南体育館)
10/22(土)～10/30(日)	保護者個別懇談会
10/28(金)	学園祭に伴う休業日
10/29(土)～30(日)	学園祭
10/31(月)	学園祭に伴う休業日
11/2(水)	関東信越地区高専英語弁論大会
11/27(日)	アイデア対決・全国高専ロボットコンテスト 全国大会(両国国技館)
11/29(火)～12/5(月)	後期中間試験
12/10(土)～12/11(日)	全国高専デザインコンペティション
12/22(木)	マラソン大会
12/24(土)～1/4(水)	冬季休業
1/19(木)	専攻科特別研究発表会
1/20(金)	推薦入試に伴う休業日
1/22(日)	推薦入学者選抜
1/24(火)	推薦入試に伴う休業日
1/28(土)～1/29(日)	全国高専プレゼンテーションコンテスト
2/2(木)～2/8(水)	学年末試験
2/10(金)	学力入試に伴う休業日
2/12(日)	学力入学者選抜
2/14(火)	学力入試に伴う休業日
2/17(金)	終業式
2/20(月)～2/22(水)	卒業研究発表会
2/20(月)～2/27(月)	補講期間
3/1(水)～3/3(金)	3年生スキーコンペティション
3/1(水)～3/31(金)	学年末休業
3/17(金)	修了式・卒業式

叙勲

大藤 晃義(名誉教授) 令和4年春の叙勲 瑞宝小綬章

名誉教授

令和4年4月1日授与 上原 正啓 電気電子工学科 教授
鈴木 聰 電子制御工学科 教授
栗本育三郎 情報工学科 教授

保健室より



引き続き、新型コロナウイルス感染症に注意が必要です。

感染症予防の基本は、正しい手洗いです。石鹼をよく泡立てて、トイレの後、食事の前、調理の前後、外出から帰宅した時など、忘れずに行なうようにしましょう。

『新型コロナウイルス感染症対策指針【保護者・学生】第13版』の確認をお願いいたします。

体調が悪い時には登校を控え、医療機関で診察を受けてください。新型コロナウイルス、インフルエンザ等、感染症に感染している、またはその疑いがあると診断された場合は、公欠(要診断書等)になります。

この場合は、必ず学校(木更津高専学生課0438-30-4038)に連絡をお願いします。

※今年度も学校でのインフルエンザ予防接種は行いません。インフルエンザワクチンを希望する方は、各自で医療機関を受診して受けてください。

学生相談室より



学生相談室(講義棟A1階 保健室隣)は、皆さん一人一人が充実した学生生活を送れるようにサポートしていくところです。相談内容については固く秘密を守りますので安心してください。保護者の方の相談にも対応いたします。

★学生相談室スタッフとのカウンセリング方法について

カウンセラーへの相談は予約制です。相談内容によっては、より適切な機関(専門医)への紹介も可能です。

予約先(保健室) ■ 電話:0438-30-4036

■ Eメール:soudan@a.kisarazu.ac.jp

対面が原則ですが、ご希望や状況に応じて、電話、ビデオ通話、メールなどの対応も可能です。

★スクールソーシャルワーカーについて

生活中で、心配や不安なことがありましたら、相談ください。

■ 相談内容等:経済的な問題、ご家庭・ご家族のことなど

■ 令和4年度勤務日(予定)

10月21日／11月18日／12月16日／1月20日／2月17日

■担当カウンセラー

開室時間

月曜日 坂本 容子 先生 12時～17時

火曜日 愛甲 修子 先生 10時～17時

水曜日 水口 純 先生 12時～17時

水曜日 愛甲 修子 先生 17時～20時

水曜日(月1回) 精神科医の先生 17時～19時

木曜日 愛甲 修子 先生 13時～17時

金曜日 愛甲 修子 先生 13時～18時

金曜日(月1回) 小幡 朋子 先生(スクールソーシャルワーカー) 13時～17時

■その他相談室スタッフ

月～金 山下 哲(学生相談室長) 随時

月～金 田村 真弓(看護師) 随時

月～金 森野 加奈(看護師) 随時

月～金 白木 玲子(事務補佐員)

★学生相談室の感染対策について(対面時)

※ご協力よろしくお願いします。

相談者およびカウンセラーの検温および体調確認、マスク着用、

手指消毒、アクリル板の設置



ロボコン2022

競技課題:ミラクル☆フライ～空へ舞いあがれ!～

○関東甲信越地区大会

■ 開催日:10月16日(日) ■ 会場:栃木県立県南体育館

○全国大会

■ 開催日:11月27日(日) ■ 会場:両国国技館



独立行政法人国立高等専門学校機構
木更津工業高等専門学校
ホームページ <https://www.kisarazu.ac.jp/>



木更津高専だより第93号 令和4年9月発行

〒292-0041 木更津市清見台東2-11-1

☎0438-30-4000